

(勉強会) 認知症と物理的環境のいま

日本では2023年に認知症基本法が制定され、認知症フレンドリー社会実現のための取り組みが進みつつあります。現在は、オレンジサポーターや認知症に対する社内研修、学校教育などソフト面での取り組みが見られますが、「物理的環境」についてはその理解も、また取り組みも少ないといえます。一方、国外では住環境、施設環境、まちづくり等における認知症の人のための物理的環境づくりが徐々に進められつつあります。

本勉強会では、認知症の人のための環境づくりを進めるために、これまで多方面で認知症の人との共創を実現してきた研究者と、認知症の人・家族・社会・企業等をつなぐ拠点施設として、また認知症フレンドリーな取組みや最新の知見を発信していく日本初の施設「福岡市認知症フレンドリーセンター」のセンター長をお招きして、今後求められる社会とその中の物理的環境について考える機会とします。



堀田聰子氏



党一浩氏

2026年2月15日(日) 14:30-16:30
会場 オンライン開催
(Zoomミーティング)

| | | |
|--|--|-------------|
| 1 | あいさつ 石井 敏 (東北工業大学副学長・JIHa理事) | 14:30-14:35 |
| 2 | 主旨説明・司会進行(注意事項) 谷本 裕香子 (東北工業大学) | 14:35-14:45 |
| 3 | 話題提供 「認知症の本人とともに暮らしやすい地域をつくる」 堀田聰子 (認知症未来共創ハブ代表) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授 | 14:45-16:05 |
| 「認知症当事者から学ぶインクルーシブな社会」 党一浩 (福岡市認知症フレンドリーセンター センター長) | | |
| 「認知症の人と物理的環境」 谷本 裕香子 (認知症の人と環境研究所 所長) | | |
| 4 | 参加者からの質疑・応答 進行 谷本 裕香子 (東北工業大学) | 16:05-16:25 |
| 5 | まとめ 石井 敏 (東北工業大学副学長・JIHa理事) | 16:25-16:30 |

| | | | |
|-------|---|---|-------------------------|
| 定 員 | 100名 | 申込み先着順 | 2026年2月9日(月) 17:00 締め切り |
| 参 加 費 | 3,300円(税込) | | |
| 申込方法 | Web 申し込み | | |
| 申込問合せ | | https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=0610834174919284&EventCode=C476930527 | |
| | 谷本 裕香子 (認知症の人と環境研究所) | | |
| | yutanimoto(at)tohtech.ac.jp (at) を @ に置き換えてください | | |
| 主 催 | JIHa+ 認知症の人と環境研究所 | | |
| 企 画 | 石井 (JIHa理事) + 谷本 (認知症の人と環境研究所所長) | | |